

~和光版MaaS事業~

2021年 10月19日

1 背景

・市北部の道路網の脆弱性

路線バスや循環バスの進入が困難な地区や慢性的に渋滞している箇所における解消
→公共交通における新たなスマート交通システムを「軸」に据えて、多様なモビリティの連携により道路網の脆弱性に対応する。

・北インター周辺の活性化に向けた企業支援

北インター周辺の産業集積及び新倉PAのSA化
→都市機能を向上させ、アクセス性の強化を図る。

・まちづくり拠点の一体性

駅周辺の「中心拠点」と市北部の「産業拠点」整備
→有機的に接続することで拠点の一体性を図る。

2 活用技術等

【スマート交通システム】

→自動運転技術や5Gを導入して、公共交通の機能向上を図る

【専用レーン整備】

→慢性的に渋滞している外環側道における定時制の確保

【MaaSアプリ】

→スマート交通システムを核とした公共交通ネットワークでの乗り換えや支払いのシームレス化による「移動しやすさ」の向上

3 整備区間

④
新産業・物流
業務ゾーン
(松ノ木島交差点)




画像：Google map

②
新倉北
地域センター



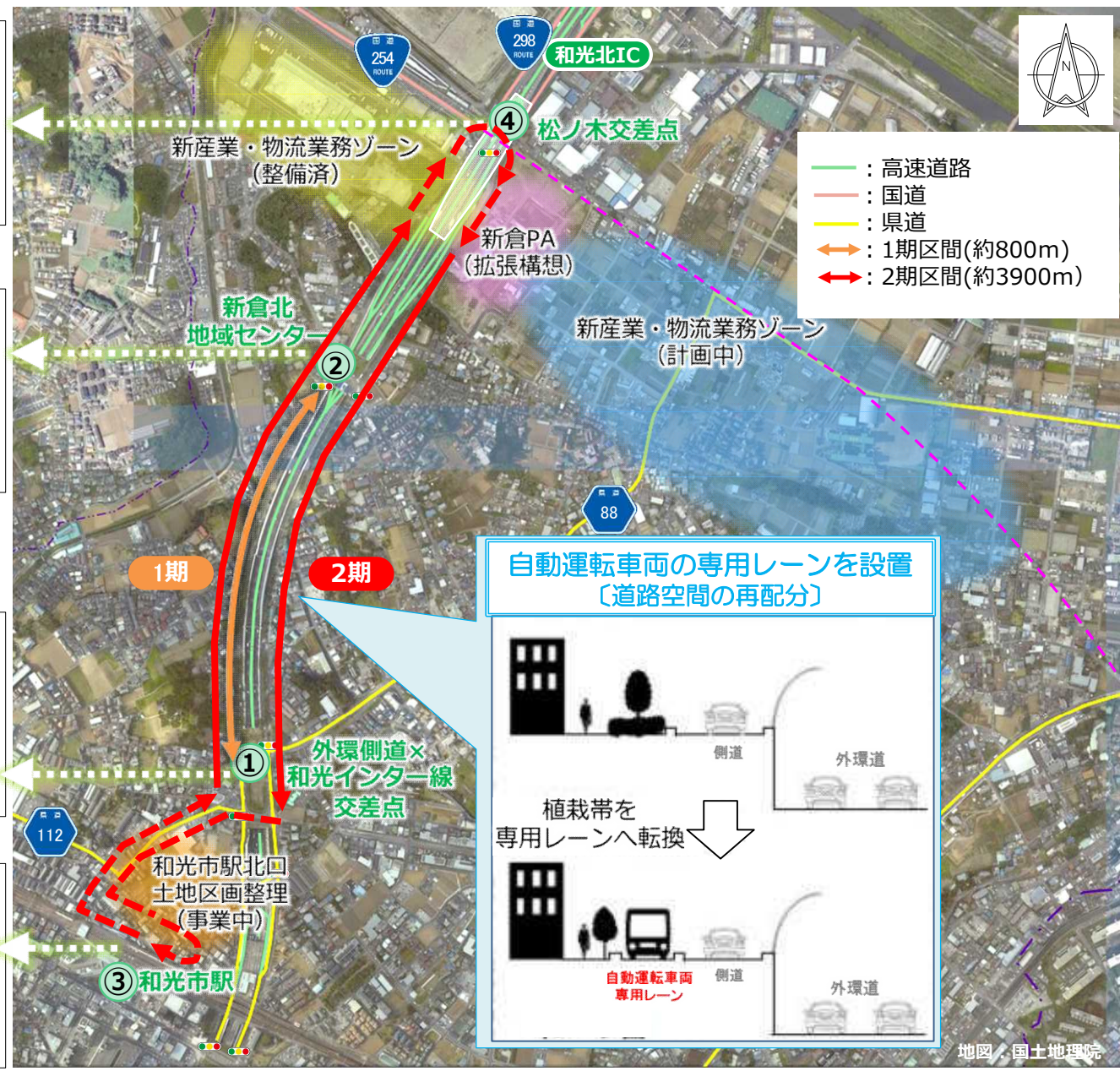
画像：Google earth

①
外環側道×
和光インター線
交差点



画像：Google earth

③
和光市駅

※今後、関係者等との調整により変更となる場合があります。

4 検討体制

■内閣府未来技術社会実装事業

和光市未来技術地域実装協議会

■和光市内の地域拠点間を接続する自動運転サービス導入に向けた関係者の協議会

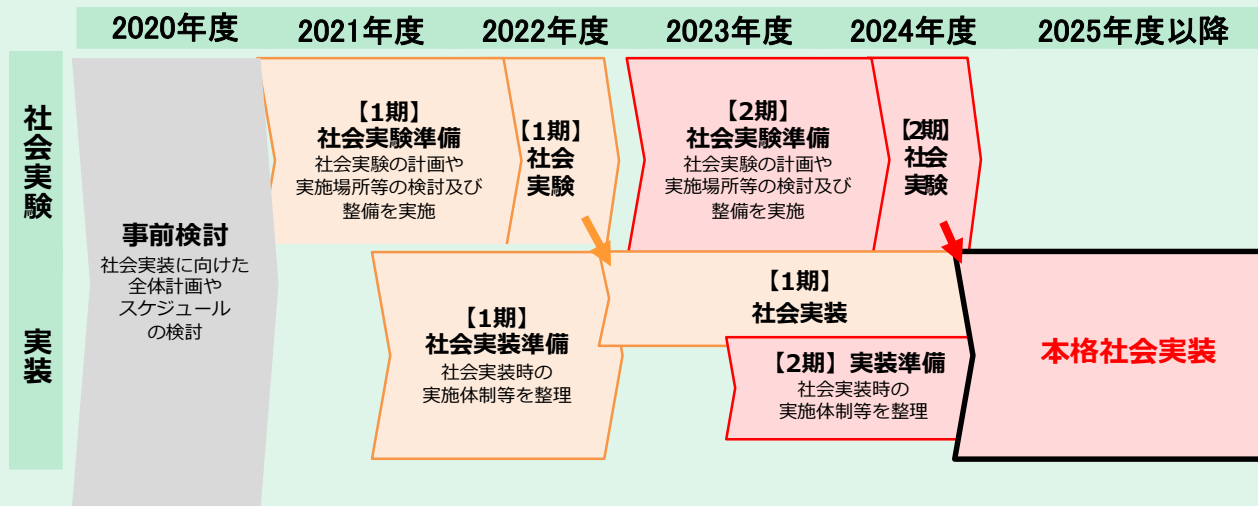
【構成員】：国土交通省、警察庁、総務省、埼玉県、学識者、和光市、
NEXCO東日本、本田技研工業 ・ 東武バスウエスト（運営事業予定者）

未来技術実装関係省庁連絡会議

■各種交付金・補助、特区の特例適用等について幅広く活用検討

【議長】：内閣府地方創生推進事務局長
【構成員】：各省庁地方創生関連部局長
【交付金】：地方創生推進交付金、社会資本整備総合交付金等

■ロードマップ（予定）



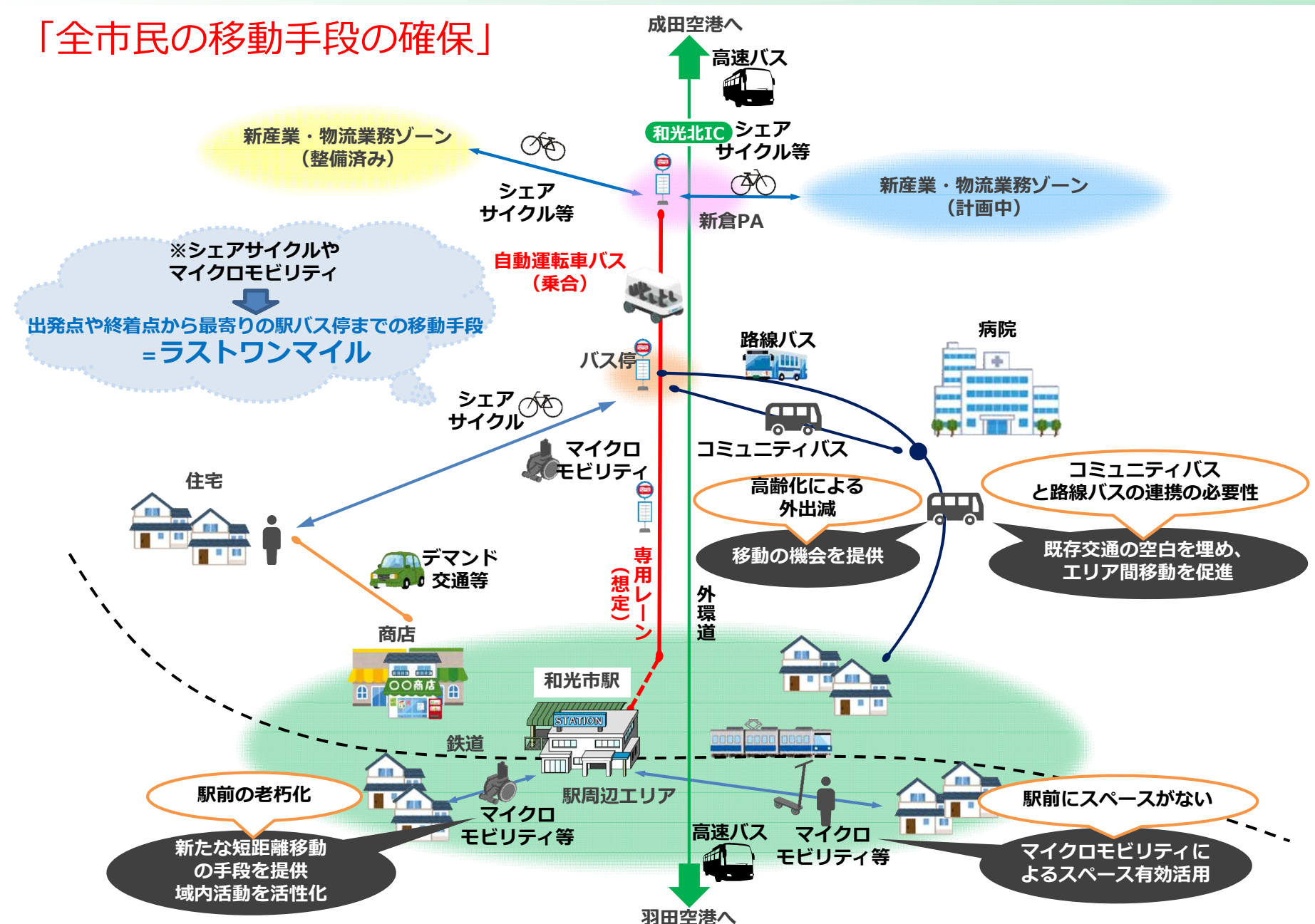
5 和光版M a a Sにおける自動運転サービス

【市北部の公共交通の基軸】



6 和光版M a a Sによる課題解決イメージ

「全市民の移動手段の確保」



7 内閣府オープンイノベーションチャレンジ2021

～道路が狭隘なエリアにおける交通ニーズ対応～

【和光市が提示したニーズ(課題)】

既存の公共交通機関では、対応が難しい道路が狭隘なエリアにおける交通ニーズを満たす手法の探索 ※市の財政負担が生じないことを実施の条件としている

【事業者(株式会社モピ)からの提案】

自動運転の低速小型EVを活用したオンデマンドのモビリティサービスの試行



実証実験事例(事業者提案書より抜粋)

【想定される実証実験の概要】

- 道路状況などに合わせた車両の検討
- スマホアプリやAIによる音声会話などの車両の呼び出しの仕組みを検討
- 和光市駅やバス停と接続するルート設定のうえ、実証実験の実施



本市としての期待

和光版MaaS事業における重要課題であるラストワンマイルの交通ニーズを満たすための1つの選択肢として期待